

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本ラッド株式会社
 コード番号 4736 URL <http://www.nippon-rad.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大塚 隆一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 佐々木 啓雄
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5574-7800

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	782	7.5	△150	—	△152	—	△165	—
25年3月期第1四半期	727	△10.3	△197	—	△195	—	△124	—

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 △160百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △171百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△41.10	—
25年3月期第1四半期	△31.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	3,429	1,374	39.9	340.97
25年3月期	3,521	1,555	44.0	386.01

(参考)自己資本 26年3月期第1四半期 1,369百万円 25年3月期 1,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,682	1.2	△172	—	△169	—	△173	—	△43.07
通期	4,025	7.2	39	—	39	—	4	—	1.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	4,505,390 株	25年3月期	4,505,390 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	488,300 株	25年3月期	488,300 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	4,017,090 株	25年3月期1Q	4,017,090 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景とした円安・株高傾向から景況感を押し上げ、企業業績や消費動向も徐々に回復基調となってきました。一方で、為替や株価の大きな変動や中国経済の成長が鈍化傾向にあり、欧州経済も依然として回復の兆候がみえないなど、国内景気の回復へ向けた不安要因も出ております。

当社グループの属する情報サービス産業界においては、通信分野や金融・保険分野向けのソフトウェア開発等が好調を維持しており、企業の情報関連投資も更新需要を中心として増加傾向にありますが、市場成長率は緩やかで厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループはクラウドサービスとセキュリティ対策分野においては、臨床研究の管理を対象としたクラウドサービスやシステムの脆弱性診断サービスの取扱いを開始するとともに、第18回データウェアハウス&CRM EXPOに出展を行いました。また、ビッグデータ分野においては、高速並行処理最新アーキテクチャを自社データセンター内に構築し、リアルタイムデータ処理を可能とする研究をしております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、7億82百万円（前年同期比7.5%増）となりました。利益面につきましては、営業損失1億50百万円（前年同期は1億97百万円の損失）、経常損失1億52百万円（前年同期は1億95百万円の損失）となりました。

四半期純損益につきましては、経常損失に加えて、リース解約損9百万円の特別損失と税金費用の発生により、四半期純損失は1億65百万円（前年同期は1億24百万円の損失）となりました。

主なセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「プロダクトマーケティング事業」は、売上高1億2百万円（前年同期比52.3%増）となりました。これは主にLED光源による大型壁面マルチスクリーンディスプレイパネルが納品検取に至ったことやセキュリティ関連プロダクト、BIソリューション製品の順調な販売推移によるものです。

「ビジネスソリューション事業」は、売上高3億97百万円（前年同期比5.4%減）となりました。これは主に派遣常駐型のシステム開発については、安定した継続受注により堅調に売上貢献したものの、受託請負型のシステム開発については、当期開始のプロジェクト検取時期が翌四半期以降に予定となっているものが増加したことによるものです。

「システムソリューション事業」は、売上高1億79百万円（前年同期比6.6%増）となりました。これは主に医療機関向けの医事システム販売の受注納品が売上貢献したことによるものです。

「ネットワーク事業」は、売上高1億円（前年同期比40.2%増）となりました。これは主に多種多様なクラウド・データセンター関連サービスの受注活動に注力したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1億53百万円、仕掛品が31百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2億49百万円減少したことによるものであります。固定資産は19億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が31百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は34億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加いたしました。これは主に買掛金が44百万円減少しましたが、その他が1億26百万円増加したことによるものであります。固定負債は10億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は20億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は13億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失1億65百万円、剰余金の配当20百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.9%（前連結会計年度末は44.0%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して1億53百万円増加し、6億41百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1億64百万円の収入(前年同期は63百万円の収入)となりました。これは主に売上債権の減少2億49百万円、仕入債務の減少44百万円、たな卸資産の増加35百万円、税金等調整前四半期純損失1億61百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは15百万円の支出(前年同期は96百万円の収入)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出16百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4百万円の収入(前年同期は1億19百万円の支出)となりました。これは主に長期借入れによる収入50百万円、長期借入金返済による支出29百万円、配当金の支払額15百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成25年5月17日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び連結子会社は有形固定資産の減価償却方法については、主に定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、クラウド・データセンターサービスを軸として長期安定的な収入を得るネットワーク事業の拡大に伴い、設備の使用期間にわたって費用を均等に負担することが、より適切に事業の実態を反映する合理的な方法であると判断したためです。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ18,581千円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	488,205	641,652
受取手形及び売掛金	734,622	485,118
商品及び製品	91,230	93,070
仕掛品	71,135	102,665
原材料及び貯蔵品	22,765	24,437
その他	110,325	136,565
貸倒引当金	△6,283	△5,624
流動資産合計	1,512,001	1,477,885
固定資産		
有形固定資産	1,192,458	1,160,532
無形固定資産		
ソフトウェア	415,527	422,753
のれん	19,537	14,514
その他	53,257	26,371
無形固定資産合計	488,322	463,640
投資その他の資産		
投資有価証券	87,860	89,911
繰延税金資産	144,847	142,616
その他	161,695	161,301
貸倒引当金	△66,037	△65,975
投資その他の資産合計	328,366	327,853
固定資産合計	2,009,147	1,952,026
資産合計	3,521,148	3,429,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,521	141,070
短期借入金	100,500	100,500
1年内返済予定の長期借入金	203,496	193,521
1年内償還予定の社債	180,000	180,000
リース債務	4,089	938
未払法人税等	20,596	4,611
賞与引当金	6,064	15,599
受注損失引当金	30,193	30,711
その他	212,531	339,399
流動負債合計	942,992	1,006,351
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	334,309	365,160
リース債務	8,334	1,291
退職給付引当金	323,587	324,846
役員退職慰労引当金	199,207	200,815
負ののれん	1,165	874
資産除去債務	5,741	5,772
その他	417	321
固定負債合計	1,022,762	1,049,081
負債合計	1,965,755	2,055,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	772,830	772,830
資本剰余金	880,425	880,425
利益剰余金	113,773	△71,410
自己株式	△226,419	△226,419
株主資本合計	1,540,609	1,355,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,019	14,289
その他の包括利益累計額合計	10,019	14,289
新株予約権	4,764	4,764
純資産合計	1,555,392	1,374,479
負債純資産合計	3,521,148	3,429,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	727,978	782,322
売上原価	756,705	777,166
売上総利益又は売上総損失(△)	△28,727	5,156
販売費及び一般管理費	168,739	155,919
営業損失(△)	△197,466	△150,763
営業外収益		
受取利息	58	34
受取配当金	1,009	1,115
為替差益	1,361	1,552
賞与引当金戻入額	7,406	—
貸倒引当金戻入額	—	720
その他	392	436
営業外収益合計	10,228	3,859
営業外費用		
支払利息	4,354	2,217
持分法による投資損失	428	2,866
貸倒引当金繰入額	3,391	—
その他	—	36
営業外費用合計	8,173	5,119
経常損失(△)	△195,411	△152,022
特別利益		
投資有価証券売却益	74,100	—
特別利益合計	74,100	—
特別損失		
投資有価証券評価損	164	—
リース解約損	—	9,148
特別損失合計	164	9,148
税金等調整前四半期純損失(△)	△121,475	△161,170
法人税等	3,387	3,927
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△124,862	△165,098
四半期純損失(△)	△124,862	△165,098

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△124,862	△165,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,479	4,270
その他の包括利益合計	△46,479	4,270
四半期包括利益	△171,342	△160,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△171,342	△160,828
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△121,475	△161,170
減価償却費	76,944	60,497
のれん償却額	4,730	4,730
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,660	1,259
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,607	1,607
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,559	9,534
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,391	△720
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△30,689	517
受取利息及び受取配当金	△1,067	△1,150
支払利息	4,354	2,217
為替差損益(△は益)	14	△1,061
持分法による投資損益(△は益)	428	2,866
投資有価証券売却損益(△は益)	△74,100	—
リース解約損	—	9,148
売上債権の増減額(△は増加)	302,642	249,504
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,830	△35,042
仕入債務の増減額(△は減少)	△127,705	△44,585
その他	2,245	82,251
小計	73,250	180,402
利息及び配当金の受取額	1,060	1,150
利息の支払額	△2,650	△1,403
法人税等の支払額	△8,615	△16,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,045	164,008
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,824	△548
無形固定資産の取得による支出	△20,287	△16,769
投資有価証券の売却による収入	146,300	—
差入保証金の差入による支出	△15,000	△10
貸付金の回収による収入	943	1,384
その他	80	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	96,211	△15,883
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△64,999	—
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△38,144	△29,124
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,876	△846
配当金の支払額	△14,955	△15,296
その他	—	△473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,975	4,260
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	1,061
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	39,267	153,446
現金及び現金同等物の期首残高	1,072,010	488,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,111,278	641,652

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額
	プロダ クトマ ーケテ ィング	ビジネ スソリ ューシ ョン	システ ムソリ ューシ ョン	ネットワ ーク	計				
売上高									
外部顧客への売上高	67,030	420,287	168,705	71,955	727,978	—	727,978	—	727,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	200	8,150	1,920	7,051	17,322	—	17,322	△17,322	—
計	67,230	428,438	170,625	79,006	745,300	—	745,300	△17,322	727,978
セグメント利益又は 損失(△)	1,882	8,858	△535	△124,589	△114,383	△7,409	△121,792	△75,673	△197,466

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国為替証拠金取引業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△75,673千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額
	プロダ クトマ ーケテ ィング	ビジネ スソリ ューシ ョン	システ ムソリ ューシ ョン	ネットワ ーク	計				
売上高									
外部顧客への売上高	102,086	397,430	179,894	100,891	780,302	2,019	782,322	—	782,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	640	2,580	5,050	2,503	10,773	—	10,773	△10,773	—
計	102,726	400,010	184,945	103,394	791,076	2,019	793,095	△10,773	782,322
セグメント利益又は 損失(△)	3,886	24,213	△10,654	△97,433	△79,987	△6,646	△86,634	△64,128	△150,763

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国為替証拠金取引業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△64,128千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。